

子ども・子育て支援新制度における保育所、幼稚園、認定こども園に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つあるが、それらはどれか。

- ア. 利用する際には、保護者は市町村の支給認定を受ける必要があり、子どもの年齢と保育の必要性に応じて認定区分がなされる。
- イ. 就労を理由とする利用の場合、保護者は就労時間にかかわらず保育の利用時間を選択できる。
- ウ. 幼保連携型認定こども園は、法律上は「学校及び児童福祉施設」として位置付けられた。
- エ. 新制度に移行する幼稚園、認定こども園の保育料は、子どもの年齢に応じた一律の額となっている。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

平成28年度 大学卒業程度(社会福祉)②

ケアマネジメントに関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. ケアマネジメントは、欧米における1960年代の施設内ケア拡充の動きの中で活用され始めた技術である。
2. ケアマネジメントは、人間関係維持のための相談援助や社会資源活用のための支援を含むものと位置づけられている。
3. ケアマネジメントは、日本では1970年代に導入され、現在では医療・高齢・障害・児童の各分野で制度化されている。
4. ケアマネジメントは、多職種の中における社会福祉援助職の独自性を明らかにするために導入された技術である。
5. ケアマネジメントは、利用者のニーズをアセスメントし、それに応じたサービス・パッケージの作成をもって終結する。

正答 2